

卓 話

平成 23 年 8 月 2 日

『仏教を考える』

有限会社オフィス・イナバ 稲葉幹雄様

私は一昨年の 11 月に、『仏教史の新視点』という本を出版しました。インド、中国、日本の仏教のそれぞれの独自性をより重視すべきというのがその主な内容です。一冊の本を出版するということは大変な作業ですが、ロータリークラブの活動に参加することがその大きな助けになりました。

韓国の姉妹クラブを訪問の途中にソウルの景福宮の宮殿を見学したこと、大邱(てぐ)市の博物館の館長さんのお話を聞いたこと、また、慶州(きょんじゅ)の仏国寺を拝観できたことなど、は大きな刺激になりました。また、ミャンマーの井戸掘削事業の旅にも参加し、上座部(小乗)仏教の国の訪問もできました。



續文堂出版
A5 版 299 頁
2500 円(税別)

新視点の仏教史

大乘仏教は中国において成立したという
新たな視点からインド・中国・日本の仏教
の歴史に斬り込む。

もくじ

第一部 中国仏教の伝来

第一章 鳩摩羅什と仏教の伝来

第二章 禅観法と戒律の模索

第三章 中国天台教学の成立

第二部 インドの仏教

第一章 大乘仏教の興起

第二章 仏教と經典の成立

第三部 日本の仏教

第一章 聖徳太子と仏教

第二章 最澄の天台宗

第四部 敦煌とトルファン

第一章 敦煌莫高窟

第二章 トルファン